

名古屋市立杉村小学校での出前講座実施報告



名古屋自然保護官事務所は、6月5日に名古屋市立杉村小学校にて出前講座を実施しました。杉村小学校では、環境週間の実践として5年生で藤前干潟を学習する予定であり、今回の出前講座はその事前学習の目的で実施しました。

講座内容は主に藤前干潟の環境とそこに生息する多様な生き物の紹介であり、干潟の仕組みと藤前干潟が抱えるゴミ問題にも触れて説明しました。藤前干潟の泥やカニ、貝類などを持参して、クイズ形式で各生物の特徴と生息環境の密接な関係について説明すると、生徒たちは干潟のどこにどのような生物が生息しているのか理解している様子でした。

生徒たちの多くは生物に大変興味があり、生き物を手に取ってじっくりと観察するなど始終生物に対する関心が薄れることはありませんでした。講座後には生徒たちが「藤前干潟に行って生き物を探してみたい」と口々に話しており、生き物のおもしろさを十分に伝えることができたと思います。



干潟の生き物にふれあう様子

◆実施概要◆

実施日：平成24年6月5日（火）9:30～11:15

場所：名古屋市立杉村小学校（北区）

対象：小学校5年生（21名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講座の内容◆

テーマ 藤前干潟に住む生き物たち

1. 藤前干潟の位置
2. 干潟の様子
*干潟の泥に触れる
3. 干潟の解説
4. 潮の満ち引きの仕組み
5. 干潟の多様な環境
6. いろんな環境に住む生き物の紹介
*生き物に触れる
7. 藤前干潟が抱える問題とその影響



講義の様子

2012年6月6日

名古屋自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー

上野 淳一